

## 登録有形文化財(建造物)の登録

文化財課

令和3年7月16日(金)に開催された国の文化審議会において、兵庫県内の建造物(11件)を登録有形文化財(建造物)に登録するよう答申されました。

### 1 答申される登録候補物件(計11件)

- (1) 旧八木家住宅 (姫路市) 5件
- (2) 鷹津家住宅 (姫路市) 5件
- (3) 中門前屋主屋 (宍粟市) 1件

### 2 登録候補物件の概要

#### (1) 旧八木家住宅 5棟

所在地：姫路市余部区下余部字村中474-1

建設年代：主 屋：江戸末期 / 明治前期、昭和35年頃・  
平成31年改修

米 蔵：江戸末期 / 明治前期増築

蔵座敷：江戸末期

内 蔵：弘化3年(1846)

長屋門：江戸末期 / 昭和前期改修

特徴等：八木家は下余部の庄屋を務めた旧家で、揖保川下流左岸の集落に位置する。敷地中央に主屋が南面し、主屋の北に米蔵、座敷蔵、内蔵、南に道に面して長屋門を配す。主屋は木造平屋建てで、集落景観の中核をなす。米蔵は年貢米の収蔵庫でかつて水運が発達していた旧水路沿いの集落景観を今に伝える。蔵座敷は藩吏(はんり)接待用書院座敷。長屋門は潜戸付の門口を開き、東に脇塀が延び、旧家の表構を格式高く演出する。主屋は現在、認定こども園として使用されている。



主屋外観

#### (2) 鷹津家住宅 5棟

所在地：姫路市御国野町深志野字北宅地586

建設年代：主 屋：明治27年頃 / 明治40年増築

厨及び井戸場：明治中期

道具蔵：明治前期

表門及び塀：明治中期

庭門及び塀：明治40年頃

特徴等：鷹津家は代々医師を務める旧家。敷地中央に主屋が南面し、北東隅に道具蔵、厨及び



主屋外観

井戸場を配す。表門及び塀が敷地西辺に建ち、庭門及び塀が主屋南庭西辺を区切る。主屋は二階建てで、正面に社寺風意匠の唐破風玄関、四周に下屋、西側に落棟の旧診療所を付す。医家の格調高い外観と上質な細部意匠を見せる。

### (3) 中門前屋主屋 1棟

所在地：宍粟市山崎町山崎字西新町10-1

建設年代：嘉永4年(1851) / 令和元年改修

特徴等：城下町山崎の通りに南面する商家主屋。正面は下屋を付し戸口両脇を出格子構え、二階は窓三箇所を平格子を入れる。規模が大きく軒裏まで漆喰塗りで仕上げ重厚にみせる町家である。現在、古民家ホテルとして活用されている。



主屋外観

### (参考1) 登録物件の件数

<兵庫県>	新規登録	累計
登録数	11件(3箇所)	737件(219箇所)
関係市町	2市	34市町

宍粟市内の文化財登録は今回が初めて。